

佐保ひろば

佐保地域広報紙 第23号

2023年6月30日発行
佐保地域自治協議会
佐保地区自治連合会
<http://www.saho-jichikyo.org>

佐保まつり11月5日開催 佐保川周辺のクリーン活動 佐保自治協議会・自治連合会・自主防が総会

令和5年度佐保地域自治協議会、佐保地区自治連合会、佐保地区自主防災防犯協議会の定時総会が5月、6月に奈良市法蓮町のホテルリガーレ春日野で開催され、新年度事業がスタートしました。(2面に主な事業計画)



自治連合会の定時総会

佐保地域自治協議会

みんなでつくる佐保まつり 「まつり寄金」でアピール

佐保地域自治協議会(岡崎忠直会長)定時総会は6月11日に開催、事業計画、予算案などが原案通り承認されました。事業計画では、11月5日に3年ぶりの第3回佐保まつり開催が盛り込まれました。催し物や売店等は前回並みとしています。今回は資金集めとして会場入場時の「まつり100円寄金」を新設、応募者には抽選券を配布し、「みんなでつくる佐保まつり」をアピールします。また、自治連合会の佐保川クリーンキャンペーン支援や、昨年に続き「佐保ふれあい食堂」を毎月開催します。

佐保地域ふれあい会館の改修工事は、このほど南館が完了、新館工事に取り掛かっています。

佐保地区自治連合会

一条通り改善プロジェクト 今年度も引き続き活動

佐保地区自治連合会(岡崎忠直会長)定時総会は5月14日に開催、事業計画、予算案などが原案通り承認されました。事業計画では、昨年度からの一条通り改善プロジェクト、自治会活動対策に加え、佐保川流域クリーンキャンペーンへの取り組みが説明されました。流域の清掃を通じて住民の交流活性化を図るもので、6月18日に第1回目を実施。将来は佐保地域自治協議会の事業として佐保地区全体としての活動を目指しています。

佐保地区防災防犯協議会

防災訓練10月29日実施 役員陣強化へ常任委員新設

佐保地区防災防犯協議会(豊田基城会長)定時総会は、5月14日に開催、事業計画、予算案などが原案通り承認されました。事業計画では、10月29日に奈良市総合防災訓練に合わせ通常規模での防災訓練実施が盛り込まれました。自治会長の防災・防犯への取り組み強化策として研修会も計画。また大災害への備えとして役員陣容強化

佐保地域自治協議会役員表

役職	氏名
会長	岡崎 忠直
副会長	大島 國裕
副会長	豊田 基城
監事(新任)	八木 富造
監事(新任)	藤波 央
常任理事	高松 義直
事務局長	
広報編集長	
常任理事	福井 俊晴
会計	
常任理事	山本 靖弘
常任理事(新任)	岡崎きみ子
常任理事	安田留美子
常任理事	浅川 清仁
常任理事	横田 好弘
常任理事	松下 智加

佐保地区自治連合会役員表

役職	氏名
会長	岡崎 忠直
副会長	高松 義直
広報編集長	
副会長	福井 俊晴
事務局長	
会計	藤岡 脩
監事	平松 文男
監事	佐埜 清
常任委員	辻中二三夫
常任委員	川本 慶一
常任委員	中村 龍也
常任委員	豊田 基城
常任委員	渡部 文雄
事務局長補佐	
常任委員	浅川 清仁
常任委員	五十嵐創一
常任委員	堀井 博司
常任委員	櫻井 俊弘

のため常任委員2名を新設する規約改正も提案、承認されました。

佐保まつりプログラム企画案 11月5日開催 会場：佐保小学校

◆第3回佐保まつり開催企画案（佐保まつり実行委員会）

- ◎開催趣旨▶人と人との交流と絆を深めるふれあいの創造
 - ・開催日▶11月5日（日曜）※少雨決行。
悪天候なら12日（日曜）開催
 - ・会場▶佐保小学校運動場及び体育館
 - ・想定来場者▶1500人～2000人

佐保まつり100円寄金

- ・1人100円▶スタッフ・出店業者・小学生は不要
※「みんなで作る佐保まつり」寄金箱設置
※入場時に東門で寄金者と小学生に抽選券番号札配布。
当選500円図書券×最大60人

会場

- ・出店数▶20店以上
- ・スタッフ▶約30名（自治協・連合会・自主防・婦人会・社協など）
- 開催日の場内アナウンス担当▶（県立大生予定）
- サポーター▶県立大学・育英高校など
 - ・場内見回り（自主防災防犯協議会・民生委員・自治会）
- ノボリ▶小学校、佐保ふれあい会館に掲揚。

★佐保まつりプログラム案★
スタッフ9時集合
ハッピー着用

◇10時開会
開会あいさつ
佐保小オープニング演奏
佐保幼稚園の遊戯
場内売店オープン
（15時まで）
キッチンカー（15時まで）

◇12時
抽選大会13時～13時半
（図書券最大60人予定）
獅子舞
バサラ踊り
奈良高校演奏
◇15時閉会

片付け作
（スタッフ・サポーター）

自主防災防犯協議会役員表

役職	氏名
会長	豊田 基城
副会長 事務局長	川淵 眞澄
副会長 災害対策部長	岩井 信孝
副会長・防災訓練対策部長	川本 慶一
会計	神殿 義一
監事	藤波 央
防災防犯巡視部長	浅野 雄三
交通安全対策部長	齋藤 幸治
常任委員	綿谷 克己
常任委員	長岡 光彦

地域自治協議会事業計画

- ① 啓発活動・協議会運営▶広報紙「佐保ひろば」年4回発行。
ホームページの随時更新▶「佐保ふれあい食堂」毎月開催
- ② まちづくり事業▶第3回佐保まつり11月5日開催

自治連合会事業計画

- ① プロジェクト▶一条通り改善活動
▶自治会活動活性化へ講習会など実施
▶6月、12月に佐保川クリーン活動
- ② 年間予定▶10月に防災訓練 ▶令和6年2月に新年懇親会

自主防災防犯協議会事業計画

- ① 災害対策部▶要支援者の避難行動計画を各自治会に依頼
▶自治会長研修会実施
▶一時避難所確保の「指導と支援
- ② 防災訓練部▶10月29日に防災訓練
▶ブロック単位で非常時の体制づくり指導
- ③ 防災防犯巡視部▶地域パトロール、青色パトロール実施
- ④ 交通安全対策部▶登下校の危険個所の再度見直し
▶大仏鉄道公園前の登校見守り隊員の確保

佐保地区自治活動記録

4月▽6日＝佐保まつり事務局会議。イベント、準備状況確認
▽14日＝佐保ふれあい会館練和4年度実績報告を市役所に提出
▽15日＝佐保地域自治協議会全体協議で協賛金依頼活動説明
▽17日＝奈良市に佐保自治協議会一括交付金の令和4年度

実績報告。奈良県立大学に佐保まつりの学生スタッフ募集依頼
▽18日＝自治連合会役員会
5月▽14日＝自治連合会定時総会。佐保川クリーンキャンペーン提案
▽20日＝佐保川クリーンキャンペーン会議。自治会長出席
▽21日＝自治協議会全体協議。定時総会議案書、佐保まつり計画説明
▽28日＝自

治連合会役員会。佐保川クリーン計画協議▽31日＝自治連合会ゴルフコンペ開催。6月▽ふれあい会館オンライン予約会場変更作業
▽7日＝ふれあい会館利用者へ会場変更通知
▽11日＝自治協議会定時総会。第3回佐保まつり計画など事業計画説明
▽18日＝佐保川クリーンキャンペーン行動実施

15自治会から 220人参加

佐保川クリーンキャンペーン

集合場所・ごみ集積場

参加自治会	集合地・ゴミ
多門町	若草橋
法蓮南1丁目東町・西笹鉾町第1	法蓮橋
法蓮南1丁目・2丁目・北袋町	天平橋
法蓮仲町・イトーピア奈良	佐保橋西公園横
佐保川西町第1・法蓮南町・船橋町	大仏鉄道公園
法蓮立花町	緑地公園北側
法蓮西町第1・第2・法蓮桜町	緑地公園南側

佐保地区自治連合会の事業活動として始めた「佐保川クリーンキャンペーン」が6月18日午前中に実施されました。若草橋、法蓮橋、天平橋、佐保橋、大仏鉄道公園、下長慶橋付近の南北緑地公園の7か所に多門町から法蓮桜町までの15自治会の住民約220人が参加しました。

昭和35年から約60年続けられていた佐保川清掃委員会の活動は、コロナウイルス禍で休止していましたが、自治連合会の活動を機に発展的に解消することになりました。

このクリーンキャンペーンは、今秋にも実施する予定です。



女子大北側



緑地公園付近

天平橋で勢揃い



佐保橋西側



自転車走行 ヘルメット着けて

船橋通り商店街協同組合の横田好弘理事長が船橋通りでの交通安全啓発活動を提唱、5月19日に自転車利用者の安全運転と努力義務となったヘルメット着用を呼びかける啓発うちわを歩行者らに配布しました。この日は、同商店街

佐保まちアングル

関係者、奈良警察署交通課、氏神の漢国神社の梅木宮司、奉仕団体「プロバスクラブ」会員、歌手の川井聖子さんら30人が雨の中、協力。船橋通り周辺は幼稚園から大学まで多くの学校園があり、車や自転車の通行が多く、交通マナーの向上を訴えました。(写真)

船橋商店街にミニ書店オープン

船橋通り商店街の中ほどに小さな書店「ほんの入り口」が5月下旬からオープンしています。大阪のチェーン書店などで働いていた



服部健太郎さんが、様々なジャンルのちょっと気になるような本を並べ、「本に親しめるオアシスの空間」をつくっています。店内は2コーナーあり、奥の部屋では読書会なども開きたいと、大型店にはない特色を出そうとしています。(写真は店内の書棚)

奈良市消防団若草分団への自治連合会支援金を停止

佐保地区自治連合会はこのほど、長年にわたり行ってきた奈良市消防団若草分団への活動支援金を停止することとし、5月の定時総会で経過説明を行いました。

奈良市より自治会交付金に関する注意事項として、「消防団への後援費・負担金について、消防団

員は特別職公務員であり、自治会からの寄附金は受け取れない」との見解が提示されました。

また、奈良市自治連合会定例会議でも、消防団への支出は法令違反となるため、控えるとの見解が発表されました。

これにより佐保地区自治連合会役員会は令和5年度から支出の停止を決議しました。

ふれあい会館南館工事終了 新館工事は8月末完了予定

佐保地域ふれあい会館の改修工事は、6月上旬に南館が終了、引き続き新館改修工事に移ります。完了は8月下旬の見通しです。新館で利用の仮登録された使用申請書に基づき、南館で利用できるよう6月上旬に同会館事務局で変更作業を行いました。

佐保路

佐保小学校 藤波 央校長

子ども達の笑顔のために

この度の人事異動で、大安寺西小学校より佐保小学校校長として着任しました藤波央(ひさし)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

春四月に訪れた佐保小学校は、どこまでも澄み渡る青空と美しく咲き誇る桜が大変印象的な学校でした。

創立101年目となる歴史ある学校とご縁をいただいたことに感謝しながらも、その重責に身が引き締まる思いです。

始業式以降、校区をめぐり登



校する児童と朝の挨拶を交わしていますが、多くの児童が笑顔で元気な挨拶を自分から進んでしてくれます。横断歩道で立哨

指導していると。「ありがとうございます」と返してくれる児童までいます。登校の安全を見守っているつもりが、私の方こそ朝から清々しい元気をもらっています。

この佐保の子ども達がこれから生き抜く未来は、急激な変化と多様性に満ち溢れた社会になります。これからも、学校は子ども達の笑顔溢れる健やかな成長のために教職員が一丸となって努力してまいりますので、地域の皆様や保護者の皆様方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いたします。



桜保存会のメンバー

咲き誇る 佐保の思い



北袋町自治会長
吉本俊男さん

自治会長さんの一言

江戸時代

北袋町に「塾」があった

江戸時代後期の天保3年(1832年)、北袋町に「学舎明教」という幕府公認の講学所『明鏡館』があった。国学に詳しく、奈良奉行・梶野土佐守良材が設立。受講者は奉行所の与力・同心の子弟や町民も加わることができたらしい。中には東大寺の僧侶や奈良の文人も名を連ねている。『塾』の先駆けといわれる。

風光る3月末、佐保川で桜まつりが開幕、新型コロナウイルス禍からある程度は解き放たれたこともあるのか、大勢の花見客が訪れました。佐保川堤には佐保川・川路桜保存会(南信久会長)の行き届いた手入れにより樹齢170年を超える川路桜など170本が咲き乱れ、行き交う人の眼を楽しませていました。

「ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな」まさにある歌人が詠んだ通りの景色。佐保地区が誇る桜並木がいつまでも続くようにと、保存会や近隣住民は願っているようです。

佐保川川路桜まつり

